

I 型訓練（令和 3 年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	川内原子力発電所、伊方発電所、美浜発電所	評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	R3 年度シナリオ：2022 年 8 月 5 日（川内）、2022 年 9 月 14 日（伊方）、2022 年 12 月 27 日（美浜）		

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	良好事例（整理後）
1	発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移の把握 ・中央制御室内でのプラント状況とパラメータ推移の共有	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開			
2	事象収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示				
3	事象進展の監視・予測 ・オーバーサイトによる全体監視（当直課長） ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を推定し、事象進展を予測（本部より評価、予測される場合は、本部側で評価）				
4	要員管理 ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請				

黄色ハッチング：過去に各電力に展開した共通展開良好事例

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	良好事例（整理後）
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席にタイムリーで正確な状況を報告	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開			
6	知識の活用 ・手順書に従った対応操作				

黄色ハッチング：過去に各電力に展開した共通展開良好事例

I 型訓練（令和 3 年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	川内原子力発電所、伊方発電所、美浜発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	R3 年度シナリオ：2022 年 8 月 5 日（川内）、2022 年 9 月 14 日（伊方）、2022 年 12 月 27 日（美浜）		

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	良好事例（整理後）
1	発生事象の状況把握 ・中央制御室、現場からのプラント状況とパラメータ推移をタイムリーで正確に把握 ・本部内でのプラント状況とパラメータ推移の共有				
2	事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作業・操作の検討および指示 ・その他事故収束への対応支援 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応方針の決定、伝達 ・設備の故障原因調査				
3	事象進展の監視・予測 ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を評価し、事象進展を予測（当直により評価、予測される場合は、当直側で評価）				

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

黄色ハッチング：過去に各電力に展開した共通展開良好事例

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	良好事例（整理後）
4	要員管理 ・現場要員の稼働状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開			
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席は中央制御室での対応操作を妨げない ・即応センター等、所外への的確な情報連携（訓練対象である場合）				
6	知識の活用 ・手順書の使用 ・知識データベースの活用				

黄色ハッチング：過去に各電力に展開した共通展開良好事例

I 型訓練（令和 3 年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表（気付き事項、改善事項）

発電所	川内原子力発電所、伊方発電所、美浜発電所	評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	R 3 年度シナリオ：2022 年 8 月 5 日（川内）、2022 年 9 月 14 日（伊方）、2022 年 12 月 27 日（美浜）		

○：気付き事項、●：改善事項

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	備考
1	発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・中央制御室内でのプラント状況とパラメータ推移の共有				
2	事象収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示				
3	事象進展の監視・予測 ・オーバーサイトによる全体監視（当直課長） ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を推定し、事象進展を予測（本部より評価、予測される場合は、本部側で評価）				シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	備考
4	要員管理 ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開			
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席にタイムリーで正確な状況を報告				
6	知識の活用 ・手順書に従った対応操作				

I 型訓練（令和3年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表（気づき事項、改善事項）

発電所	川内原子力発電所、伊方発電所、美浜発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	R3年度シナリオ：2022年8月5日(川内)、2022年9月14日(伊方)、2022年12月27日(美浜)		

○：気づき事項、●：改善事項

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	備考
1	発生事象の状況把握 ・中央制御室、現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・本部内でのプラント状況とパラメータ推移の共有				
2	事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作業・操作の検討および指示 ・その他事故収束への対応支援 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応方針の決定、伝達 ・設備の故障原因調査	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開			
3	事象進展の監視・予測 ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を評価し、事象進展を予測 （当直により評価、予測される場合は、当直側で評価）				

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	備考
4	要員管理 ・現場要員の稼働状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開			
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席は中央制御室での対応操作を妨げない ・即応センター等、所外への的確な情報連携（訓練対象である場合）				
6	知識の活用 ・手順書の使用 ・知識データベースの活用				

【2022年度】【川内発電所】I型訓練（R3年シナリオ）：プレーヤー等所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【2022年度】【伊方】I型訓練（R3年シナリオ）：プレーヤー等所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【2022年度】【美浜発電所】I型訓練(R03シナリオ)：プレーヤー等所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【川内原子力発電所】I型訓練：主要事象に対する判断と対応（令和3年度シナリオ：2022年8月5日実施）

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開			

【伊方発電所】I型訓練：主要事象に対する判断と対応（令和3年度シナリオ：2022年9月14日実施）

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開			

【美浜発電所】I型訓練（R03 シナリオ）：主要事象に対する判断と対応

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開			

PWR I 型訓練（令和 2 年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	敦賀発電所、大飯発電所、高浜発電所、泊発電所、川内原子力発電所	評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	2022年9月9日(敦賀)、2023年2月10日(大飯)、3月2日(泊)、3月10日(高浜)、3月30日予定(川内)		

評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所	良好事例（整理後）
1 発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移の把握 ・中央制御室内でのプラント状況とパラメータ推移の共有	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開					
2 事象収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示						
3 事象進展の監視・予測 ・オーバーサイトによる全体監視（当直課長） ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を推定し、事象進展を予測（本部より評価、予測される場合は、本部側で評価）						

	評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所		良好事例（整理後）
4	要員管理 ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開						
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席にタイムリーで正確な状況を報告							
6	知識の活用 ・手順書に従った対応操作							

PWR I型訓練（令和2年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	敦賀発電所、大飯発電所、高浜発電所、泊発電所、川内原子力発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	2022年9月9日(敦賀)、2023年2月10日(大飯)、3月2日(泊)、3月10日(高浜)、3月30日予定(川内)		

評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所	良好事例（整理後）
1 発生事象の状況把握 ・中央制御室、現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・本部内でのプラント状況とパラメータ推移の共有	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開					
2 事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作業・操作の検討および指示 ・その他事故収束への対応支援 ・優先順位(止める・冷やす・閉じ込める)と対応方針の決定、伝達 ・設備の故障原因調査						
3 事象進展の監視・予測 ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を評価し、事象進展を予測(当直により評価、予測される場合は、当直側で評価)						

	評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所		良好事例（整理後）
4	要員管理 ・現場要員の稼働状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開						
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席は中央制御室での対応操作を妨げない ・即応センター等、所外への的確な情報連携（訓練対象である場合）							
6	知識の活用 ・手順書の使用 ・知識データベースの活用							

PWR I 型訓練（令和 2 年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表（気付き事項、改善事項）

発電所	敦賀発電所、大飯発電所、高浜発電所、泊発電所、川内原子力発電所	評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	2022 年 9 月 9 日 (敦賀)、2023 年 2 月 10 日 (大飯)、3 月 2 日 (泊)、3 月 10 日 (高浜)、3 月 30 日 予定 (川内)		

評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所	備考
1 発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移の把握 ・中央制御室内でのプラント状況とパラメータ推移の共有	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開					
2 事象収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示						
3 事象進展の監視・予測 ・オーバーサイトによる全体監視（当直課長） ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を推定し、事象進展を予測（本部より評価、予測される場合は、本部側で評価）						

	評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所		備考
4	要員管理 ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開						
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席にタイムリーで正確な状況を報告							
6	知識の活用 ・手順書に従った対応操作							

PWR I 型訓練（令和 2 年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表（気付き事項、改善事項）

発電所	敦賀発電所、大飯発電所、高浜発電所、泊発電所、川内原子力発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	2022 年 9 月 9 日 (敦賀)、2023 年 2 月 10 日 (大飯)、3 月 2 日 (泊)、3 月 10 日 (高浜)、3 月 30 日 予定 (川内)		

評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所	備考
1 発生事象の状況把握 ・中央制御室、現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・本部内でのプラント状況とパラメータ推移の共有						
2 事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作業・操作の検討および指示 ・その他事故収束への対応支援 ・優先順位(止める・冷やす・閉じ込める)と対応方針の決定、伝達 ・設備の故障原因調査						シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開
3 事象進展の監視・予測 ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を評価し、事象進展を予測(当直により評価、予測される場合は、当直側で評価)						

	評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所		備考
4	要員管理 ・現場要員の稼働状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開						
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席は中央制御室での対応操作を妨げない ・即応センター等、所外への的確な情報連携（訓練対象である場合）							
6	知識の活用 ・手順書の使用 ・知識データベースの活用							

【敦賀発電所】I型訓練：プレーヤー等所感（令和2年度シナリオ）

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【敦賀発電所】I型訓練：主要事象に対する判断と対応（令和2年度シナリオ）

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開			

BWR I 型訓練（令和 3 年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二原子力発電所	評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	R 3 年度シナリオ：2022年6月29日(東通)、2022年5月25日(女川)、2022年6月17日(柏崎刈羽)、2023年3月15日(浜岡)、 2023年3月30日予定(志賀)、2022年6月22日(島根)、2022年4月20日(東海第二)		

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
1 発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・中央制御室内でのプラント状況とパラメータ推移の共有	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
2 事故収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示								

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
3	<p>事象進展の監視・予測</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーバーサイトによる全体監視 (当直課長) ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移, 必要な対応操作等から影響を推定し, 事象進展を予測 (本部より評価、予測される場合は、本部側で評価) ・本部への必要な対応操作・作業の要請 							
4	<p>要員管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請 							
5	<p>コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席にタイムリーで正確な状況を報告 							

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

	評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
6	知識の活用 ・手順書に従った対応操作	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							

BWR I 型訓練（令和3年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二原子力発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	R3年度シナリオ：2022年6月29日(東通)、2022年5月25日(女川)、2022年6月17日(柏崎刈羽)、2023年3月15日(浜岡)、2023年3月30日予定(志賀)、2022年6月22日(島根)、2022年4月20日(東海第二)		

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
1 発生事象の状況把握 ・中央制御室、現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・本部内のプラント状況とパラメータ推移の共有	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
2 事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作業・操作の検討および指示 ・その他事故収束への対応支援 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応方針の決定、伝達 ・設備の故障原因調査								
3 事象進展の監視・予測 ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を評価し、事象進展を予測								

	評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
	(当直により評価、予測される場合は、当直側で評価)	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
4	要員管理 ・現場要員の稼働状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示								
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席は中央制御室での対応操作を妨げない ・即応センター等、所外への的確な情報連携（訓練対象である場合）								
6	知識の活用 ・手順書の使用 ・知識データベースの活用								

BWR I 型訓練（令和3年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【気づき事項，改善事項】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二原子力発電所	評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	R3年度シナリオ：2022年6月29日(東通)、2022年5月25日(女川)、2022年6月17日(柏崎刈羽)、2023年3月15日(浜岡)、 2023年3月30日予定(志賀)、2022年6月22日(島根)、2022年4月20日(東海第二)		

○：気づき事項，●：改善事項

	評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
1	発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・中央制御室，現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移の共有								
2	事故収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
3	事象進展の監視・予測 ・オーバーサイトによる全体監視（当直課長） ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移，必要な対応操作等から影響を評価し，事象進展を予測（本部より評価、予測さ								

	評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
	れる場合は本部側で評価) ・本部への必要な対応操作・作業の要請								
4	要員管理 ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請								
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席へのタイムリーで正確な状況を報告								
6	知識の活用 ・手順書に従った対応操作								

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

BWR I 型訓練（令和3年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【気づき事項，改善事項】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二原子力発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	R3年度シナリオ：2022年6月29日(東通)、2022年5月25(女川)、2022年6月17日(柏崎刈羽)、2023年3月15日(浜岡)、 2023年3月30日予定(志賀)、2022年6月22日(島根)、2022年4月20日(東海第二)		

○：気づき事項，●：改善事項

	評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
1	発生事象の状況把握 ・クリティカルパラメータを決定し、中央制御室運転員に対し監視を指示 ・中央制御室、現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移の把握								
2	事象進展の予測 ・パラメータの推移，必要な対応操作等から影響を評価し，事象進展を予測（対策本部から共有される場合はその情報を把握）								シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開
3	事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作								

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
業・操作の指示 ・その他事故収束への対応支援 ・優先順位と対応方針の決定、伝達	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
4 要員管理 ・現場要員の稼働状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示								
5 コミュニケーション ・本部へのタイムリーで正確なコミュニケーションの実施								
6 知識の活用 ・手順書の使用								

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【2022年度】【東海第二発電所】I型訓練（R3年シナリオ）：プレーヤー等所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【2022年度】【島根原子力発電所】I型訓練（R3年シナリオ）：プレーヤー等所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【2022年度】【女川原子力発電所】BWR I型訓練（R3年シナリオ）：プレーヤー等所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【2022年度】【東通原子力発電所】BWR I型訓練（R3年シナリオ）：プレーヤー等の所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【東京電力】I型訓練(令和3年度開発シナリオ) 主要事象における判断と対応

年月日	R3年度シナリオ：2022年6月17日	評価対象	【緊急時対策所】 【中央制御室】
-----	---------------------	------	---------------------

○：実施事項，◎：良好事例，△：気づき事項，改善事項

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

※改善が必要な項目については，改善策を検討し次回以降の訓練でその有効性を検証する。

【東海第二発電所】I型訓練(令和3年度開発シナリオ) 主要事象における判断と対応

年月日	R3年度シナリオ：2022年4月20日	評価対象	【緊急時対策所】 【中央制御室】
-----	---------------------	------	---------------------

○：実施事項, ◎：良好事例, △：気づき事項, 改善事項

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

※改善が必要な項目については、改善策を検討し次回以降の訓練でその有効性を検証する。

【中国電力】I型訓練(令和3年度開発シナリオ) 主要事象における判断と対応

年月日	R3年度シナリオ：2022年6月22日	評価対象	【緊急時対策所】 【中央制御室】
-----	---------------------	------	---------------------

○：実施事項, ◎：良好事例, △：気づき事項, 改善事項

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

※改善が必要な項目については、改善策を検討し次回以降の訓練でその有効性を検証する。

【女川原子力発電所】BWR I 型訓練(令和 3 年度開発シナリオ) : 主要事象に対する判断と対応

年月日	R3年度シナリオ : 2022年5月25日 (女川)	評価対象	【緊急時対策所】 【中央制御室】
-----	----------------------------	------	---------------------

○ : 実施事項, ● : 良好事例, △ : 気づき事項, 改善事項

主要事象	判 断	対 応	備 考
シナリオ非提示型 (ブラインド訓練) のため非公開			

【東通原子力発電所】I型訓練(令和3年度開発シナリオ) 主要事象における判断と対応

年月日	R3年度シナリオ：2022年6月29日（東通）	評価対象	【緊急時対策所】 【中央制御室】
-----	-------------------------	------	---------------------

○：実施事項，◎：良好事例，△：気づき事項，改善事項

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

※改善が必要な項目については，改善策を検討し次回以降の訓練でその有効性を検証する。

BWR I 型訓練（令和2年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二原子力発電所	評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	R2年度シナリオ：2022年3月31日（東通）、2022年3月24日（女川）、2021年6月18日（柏崎刈羽）、2022年6月3日（浜岡）、2022年3月10日（志賀）、2022年3月28日（島根）、2022年5月18日（東海第二）		

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
1 発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・中央制御室内でのプラント状況とパラメータ推移の共有	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
2 事故収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示								
3 事象進展の監視・予測 ・オーバーサイトによる全体監視（当直課長） ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を推定し、事象進展を予測（本部より評価、予測される場合は、本部側で評								

黄色ハッチング：過去に各電力に展開した共通展開良好事例

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
価) ・本部への必要な対応操作・作業の要請	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
4 要員管理 ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請								
5 コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席にタイムリーで正確な状況を報告								
6 知識の活用 ・手順書に従った対応操作								

BWR I 型訓練（令和2年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二原子力発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	R2年度シナリオ：2022年3月31日（東通）、2022年3月24日（女川）、2021年6月18日（柏崎刈羽）、2022年6月3日（浜岡）、2022年3月10日（志賀）、2022年3月28日（島根）、2022年5月18日（東海第二）		

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
1 発生事象の状況把握 ・中央制御室、現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・本部内のプラント状況とパラメータ推移の共有	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
2 事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作業・操作の検討および指示 ・その他事故収束への対応支援 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応方針の決定、伝達 ・設備の故障原因調査								

黄色ハッチング：過去に各電力に展開した共通展開良好事例

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
事象進展の監視・予測 ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を評価し、事象進展を予測（当直により評価、予測される場合は、当直側で評価）	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
要員管理 ・現場要員の稼働状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示								
コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席は中央制御室での対応操作を妨げない ・即応センター等、所外への的確な情報連携（訓練対象である場合）								

	評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
6	知識の活用 ・手順書の使用 ・知識データベースの活用	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							

BWR I 型訓練（令和2年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【気づき事項，改善事項】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二発電所	評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	R2年度シナリオ：2022年3月31日(東通)、2022年3月24日(女川)、2021年6月18日(柏崎刈羽)、2022年6月3日(浜岡)、2022年3月10日(志賀)、2022年3月28日(島根)、2022年5月18日(東海第二)		

○：気づき事項，●：改善事項

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
1 発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・中央制御室、現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移の共有								
2 事故収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示								
3 事象進展の監視・予測 ・オーバーサイトによる全体監視（当直課長） ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移，必要な対応操作等から影響を評価し，事象進展を予測（本部より評価、予測される場合は本部側で評価）								

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
・本部への必要な対応操作・作業の要請	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
4 要員管理 ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請								
5 コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席へのタイムリーで正確な状況を報告								
6 知識の活用 ・手順書に従った対応操作								

BWR I 型訓練（令和2年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【気づき事項，改善事項】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	R2年度シナリオ：2022年3月31日(東通)、2022年3月24日(女川)、2021年6月18日(柏崎刈羽)、2022年6月3日(浜岡)、2022年3月10日(志賀)、2022年3月28日(島根)、2022年5月18日(東海第二)		

○：気づき事項，●：改善事項

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
1 発生事象の状況把握 ・中央制御室、現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・本部内のプラント状況とパラメータ推移の共有								
2 事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作業・操作の検討および指示 ・その他事故収束への対応支援 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応方針の決定，伝達 ・設備の故障原因調査								
3 事象進展の監視・予測 ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移，必要な対応操作等から影響を評価し，事象進展を予測（当直により評価、予測される場合は、当直側で評								

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

	評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
	備)	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
4	要員管理 ・現場要員の稼働状況，作業終了見通しを把握し，適切な配置，作業の優先順位を指示								
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席は中央制御室での対応操作を妨げない ・即応センター等、所外への的確な情報連携（訓練対象である場合）								
6	知識の活用 ・手順書の使用 ・知識データベースの活用								

【浜岡原子力発電所】BWR I 型訓練：プレーヤー等所感（令和2年度シナリオ）

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			
改善点			

【2022年度】【東海第二発電所】I型訓練（R2年シナリオ）：プレーヤー等所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【浜岡原子力発電所】BWR I 型訓練：主要事象に対する判断と対応（令和2年度シナリオ）

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

【東海第二原子力発電所】BWR I 型訓練：主要事象に対する判断と対応

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

令和4年度(2022年度) I型訓練実績・予定

No.	シナリオ年度	炉型	実施日	事業者	発電所
1	令和3年度	BWR	2022年4月20日	日本原電	東海第二発電所
2	令和2年度	PWR	2022年4月28日	九州電力	玄海原子力発電所
3	令和2年度	BWR	2022年5月18日	日本原電	東海第二発電所
4	令和3年度	BWR	2022年5月25日	東北電力	女川原子力発電所
5	令和2年度	BWR	2022年6月3日	中部電力	浜岡原子力発電所
6	令和3年度	BWR	2022年6月17日	東京電力	柏崎刈羽原子力発電所
7	令和3年度	BWR	2022年6月22日	中国電力	島根原子力発電所
8	令和3年度	BWR	2022年6月29日	東北電力	東通原子力発電所
9	令和3年度	PWR	2022年8月5日	九州電力	川内原子力発電所
10	令和2年度	PWR	2022年9月9日	日本原電	敦賀発電所
11	令和3年度	PWR	2022年9月14日	四国電力	伊方発電所
12	令和3年度	PWR	2022年12月27日	関西電力	美浜発電所
13	令和2年度	PWR	2023年2月10日	関西電力	大飯発電所
14	令和2年度	PWR	2023年3月2日	北海道電力	泊発電所
15	令和2年度	PWR	2023年3月10日	関西電力	高浜発電所
16	令和3年度	BWR	2023年3月15日	中部電力	浜岡原子力発電所
17	令和2年度	PWR	2023年3月30日予定	九州電力	川内原子力発電所
18	令和3年度	BWR	2023年3月30日予定	北陸電力	志賀原子力発電所

PWR I型訓練 令和4年度訓練シナリオ骨子（案）

PWR 令和4年度I型訓練シナリオについて作成し、各社共に成立性が確認できたシナリオ案は以下の通り。

その中から、

シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開

シナリオ案1

のシナリオを令和4年度シナリオとしたい。

案	シナリオ	概要	備考
シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開			

PWR I型訓練 令和4年度訓練基本シナリオ（案1）

シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開

取扱注意

PWR I 型訓練 令和4年度訓練基本シナリオ（案2）

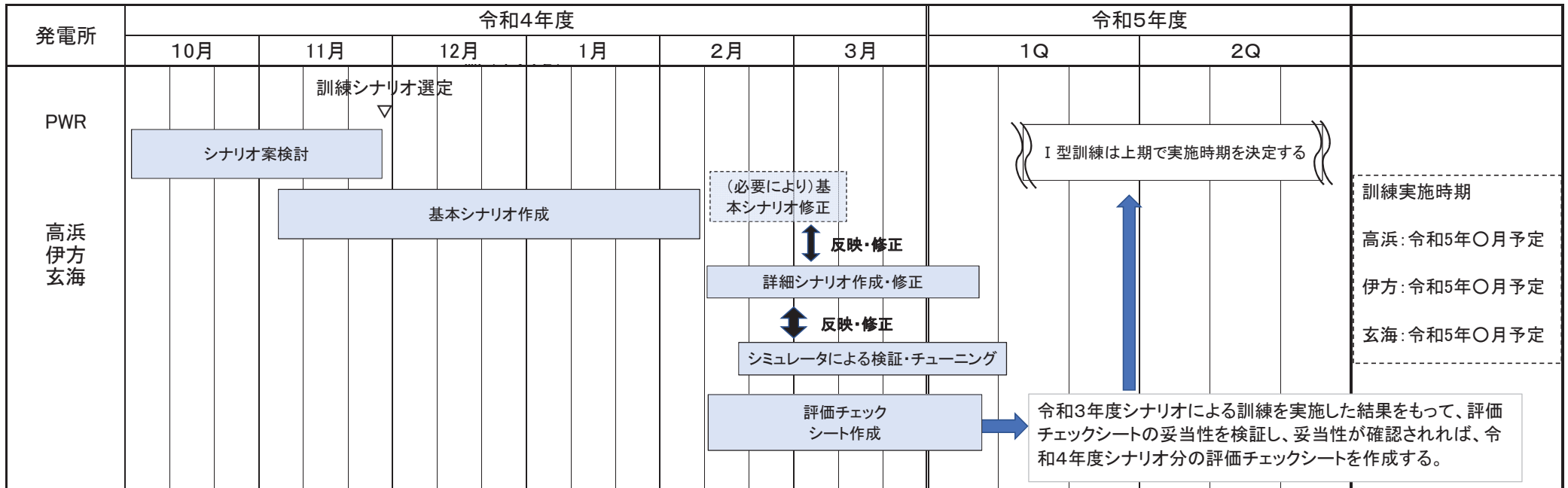
シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開

PWR I 型訓練 令和4年度訓練シナリオ概略系統図 (案1)

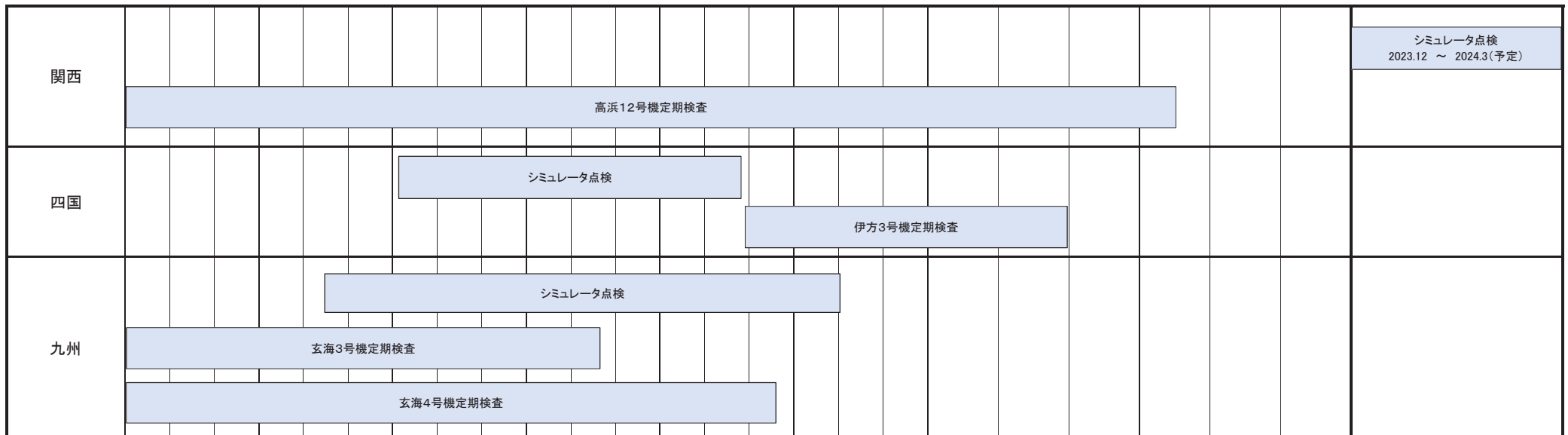
シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開

シナリオ非提示型(ブラインド訓練)のため非公開

PWR I型訓練（令和4年シナリオ）スケジュール（案）



(参考)各社シミュレータ・定期検査予定



BWR 令和4年度 I 型訓練シナリオ (案)

BWR 令和4年度 I 型訓練シナリオについて、東電 HD・中国・原電・東北にて作成したシナリオ案は以下の通り。

その中から、シナリオ非提示型 (ブラインド訓練) のため非公開 東北電力のシナリオを令和4年度シナリオとしたい。

事業者	シナリオ	概要	備考
東電 HD	シナリオ非提示型 (ブラインド訓練) のため非公開		
原電			
中国			

東北

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

令和4年度 BWR I型訓練 基本シナリオ
東京電力HD 柏崎刈羽7号機

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

取扱注意

令和4年度 BWRI型訓練 基本シナリオ
日本原電 東海第二発電所

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

取扱注意

令和4年度 BWR I型訓練 基本シナリオ
中国電力 島根2号機

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

取扱注意

令和4年度 BWR I型訓練 基本シナリオ
東北電力 女川2号機

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

取扱注意

令和4年度 BWR I型訓練 基本シナリオ
東京電力 柏崎刈羽7号機

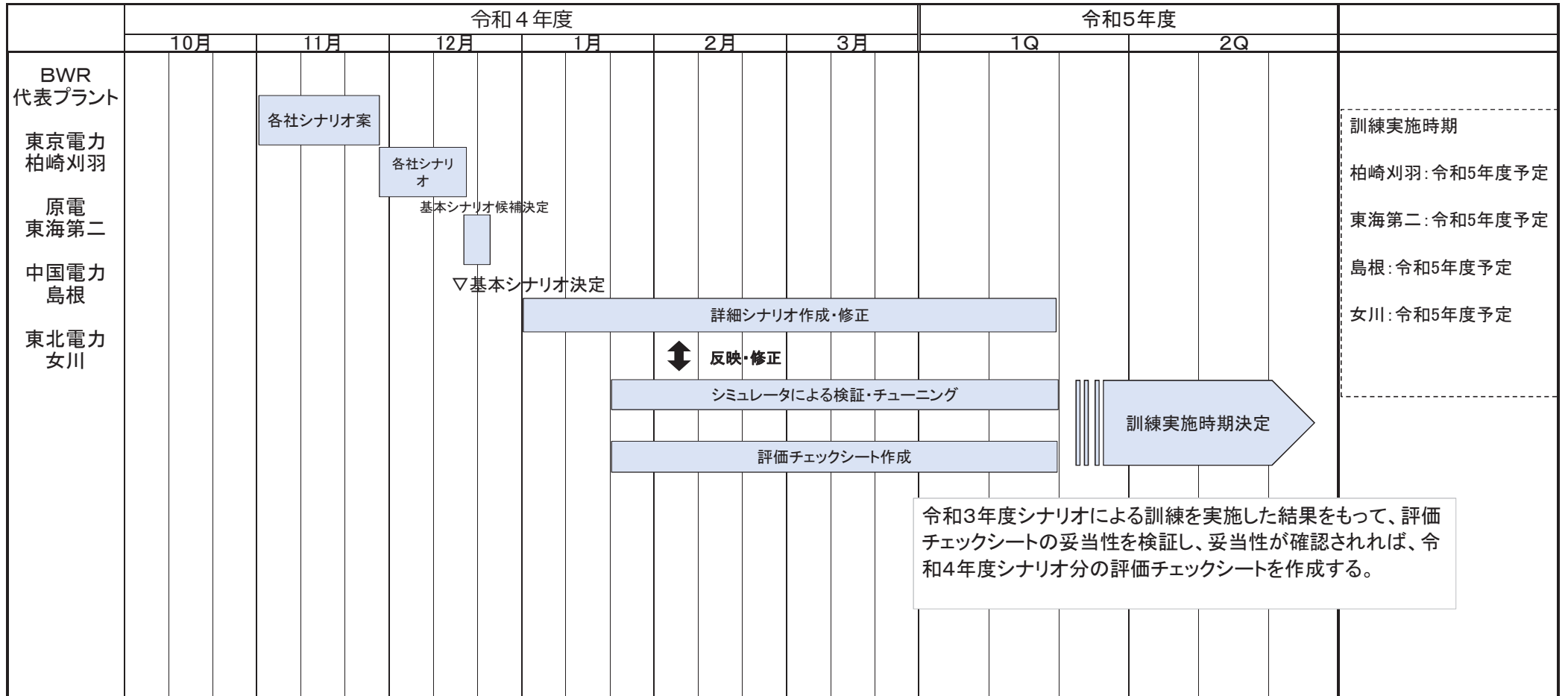
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

BWR I 型訓練令和4年度シナリオ実施計画（案）

資料1-5-4



令和 3 年度シナリオⅡ型訓練評価チェックシートを活用した各社訓練結果

事業者	反映状況
北海道	<p>【泊】</p> <p>■評価チェックシートを活用した電源確保訓練について、以下のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型設備による電源供給訓練：2022 年 4 月 21 日 <p>■気づき・改善事項に対する周知および資機材・訓練資料の改善を以下のとおり実施した。 (2022 年 2 月)</p> <p>－ 気づき・改善事項 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TBM において、体調確認時の顔色確認の際、一時的にマスク（不織布／布等）を外して実施するのが望ましい。 ・ケーブル敷設時、若干のねじれが生じ、地面より浮いていたことから、躓きによる転倒の危険に繋がるため注意すべきであった。 ・どの通信手段を使用するのか、TBM で確認しておくべきであった。 <p>－ 改善活動 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TBM の体調確認時は、一時的にマスク（不織布／布等）を外して実施するよう、確認事項のチェックシートに追記した。 ・ケーブル敷設時は、ケーブルのねじれを修正することを手順書に追記した。 ・TBM で、通信手段を確認するよう、確認事項のチェックシートに追記した。
東北	<p>【東通】</p> <p>■評価チェックシートを活用した電源確保訓練について、以下のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源車の接続および電源供給訓練：2022 年 11 月 25 日 <p>■気づき・改善事項に対する周知および資機材・訓練資料の改善を以下のとおり実施した。 (2022 年 11 月)</p> <p>－ 気づき・改善事項 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源車側ケーブル接続部に掲示している「危険 高電圧」の表示が訓練中何度も落ちていた。 <p>－ 改善活動 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「危険 高電圧」の表示について、吸盤クリップから磁石テープに変更するなど、改善することとした。 <p>【女川】</p> <p>■評価チェックシートを活用した電源確保訓練について、以下のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替交流電源による給電：2022 年 4 月 27 日 <p>■気づき・改善事項に対する周知および資機材・訓練資料の改善を以下のとおり実施した。 (2022 年 4 月)</p> <p>－ 気づき・改善事項 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーブル敷設中にリーダーから集合がかかった際に、ケーブルの末端キャップを外したままであった。 <p>－ 改善活動 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業途中にリーダーから集合がかかった際には、異物混入防止を行ってから集合するよう周知を行った。

事業者	反映状況
東京	<p>【福島第一】 ■ 4月実施予定</p> <p>【福島第二】 ■ 4月実施予定</p> <p>【柏崎刈羽】 ■ 4月実施予定</p>
中部	<p>【浜岡】 ■評価チェックシートを活用した電源確保訓練について、以下のとおり実施した。 ・交流電源車による給電訓練：2022年11月22日</p> <p>■気づき・改善事項に対する周知および資機材・訓練資料の改善を以下のとおり実施した。 (実施年月)</p> <p>－ 気づき・改善事項 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボルトにサイズ表記がなく工具の選定に時間を要した。 ・タイベック着用の場合、耳栓を装着できないためイヤーマフ等が必要であった。 <p>－ 改善活動 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボルトナットサイズ表記をすることで見える化を図った。 ・イヤーマフ等の購入検討を行う。
北陸	<p>【志賀】 ■評価チェックシートを活用した電源確保訓練について、以下のとおり実施した。 ・高圧電源車による給電操作訓練：2022年9月27日</p> <p>■気づき・改善事項に対する周知および資機材・訓練資料の改善を以下のとおり実施した。 (実施年月)</p> <p>－ 気づき・改善事項 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線防護装備（タイベック）は分厚いビニール素材で通気性がないため、夏場等では熱中症等の暑さ対策が気になった。 <p>－ 改善活動 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練実績(気温、熱中症指数、従事した人の情報(年齢、装備))を参考基準としてまとめ、本部はこの基準を基にして交代人員を管理することについて、ガイドラインに反映することを検討する。
関西	<p>【大飯】 結果整理中（2023年3月10日実施）</p> <p>【高浜】 未実施（2023年3月30日予定）</p> <p>【美浜】 結果整理中（2023年3月3日実施）</p>

事業者	反映状況
中国	<p>【島根】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■評価チェックシートを活用した電源確保訓練について、以下のとおり実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型設備による電源供給：2023年1月31日 ■気づき・改善事項に対する周知および資機材・訓練資料の改善を以下のとおり実施した。 (実施年月) <ul style="list-style-type: none"> － 気づき・改善事項 － ・社内評価において、気づき・改善事項は抽出されなかった。 なお、現在、他社評価を受けているため、別途結果を整理する。 － 改善活動 － ・他社評価を受領後、結果を整理する。
四国	<p>【伊方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■評価チェックシートを活用した電源確保訓練について、以下のとおり実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・300kVA電源車による特重施設への給電訓練：2023年2月2日 ■気づき・改善事項に対する周知および資機材・訓練資料の改善を以下のとおり実施した。 (実施年月) <ul style="list-style-type: none"> － 気づき・改善事項 － ・車両設置後の車止めの設置方向が同一方向となっていた。車止めは車輪に対して前後方向に設置する必要があるため、基本事項として注意する必要がある。 ・作業エリア内に使用後の工具箱が置かれたままになっていることがあった。使用後は活動の支障にならないよう、適宜、整理整頓しておく必要がある。 － 改善活動 － ・車輪止めの設置方向や工具の整理整頓等、基本事項の徹底について今後の訓練において繰り返し指導していく。
九州	<p>【玄海】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■3月29日実施予定 <p>【川内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■3月28日実施予定
原電	<p>【東海第二】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■3月23日実施予定 <p>【敦賀】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■3月9日実施予定

要素訓練観察チェックシート (1/6) II型訓練共通		発電所		泊発電所 / 女川原子力発電所		
		訓練テーマ/手順		可搬型設備による電源供給/代替交流電源による給電		
		年月日		2022年4月●日 / 2022年4月●日		
		評価者				
評価対象	評価項目 (全評価項目の観察、評価を必須とするものではなく、観察できた項目の評価を実施)			確認	観察記録	
リーダー/サブリーダー ・作業指示 ・TBM(-KY) ・訓練目標	1	作業範囲の説明				
	2	班員の体調確認(作業前/作業中)				
	3	班員の体調確認(気象条件による対策, 体調不良者発生時の対応)				
	4	作業中の休憩指示				
	5	各要員の配置・配員の説明				
	6	休憩中における重機, 資機材の管理方法周知(体制の明確化)				
	7	手順書の理解				
	8	参集要員集合時の点呼、状況説明、作業指示 (指示内容は具体的(定量的)かつ現実的で、設置時間を明確にすること)				
	9	ホールドポイントにてブリーフィングを行い状況確認及び各要員の認識統一				
	10	不測の事態発生時の適切な対応				
	11	[発電所固有] 電源車による代替交流電源を行う手順の習熟および対応能力の維持・向上 放射線防護装備着用における作業時の妥当性確認 悪天候における作業時の妥当性確認				
(気付き事項)				(改善事項)		
(良好事例)						

要素訓練観察チェックシート (2/6)		発電所		
		泊発電所 / 女川原子力発電所		
		訓練テーマ/手順		
		可搬型設備による電源供給/代替交流電源による給電		
		年月日		
		2022年4月●日 / 2022年4月●日		
		評価者		
II 型訓練共通				
評価対象	評価項目 (全評価項目の観察、評価を必須とするものではなく、観察できた項目の評価を実施)	確認	観察記録	
班員 ・手順 ・工具 ・作業 ・連携	1	手順書の活用（手順書の持ち運び手段が適切で使用し易い状況か）		
	2	手順書通りのステップで、抜けなく操作を実施		
	3	適正な工具（手順書に定める資機材）の使用		
	4	ホールドポイントでのセルフチェック又はダブルチェックの実施		
	5	指差呼称の実施		
	6	安全確認・体調確認の声掛け		
	7	手順書の理解		
	8	後工程を考慮した作業内容になっている		
	9	リーダーおよびサブリーダーからの指示を理解できているか		
	10	作業班は役割分担どおりの作業ができている		
	11	復唱又は3Wayコミュニケーションはできているか		
	12	訓練状況の連絡、環境状況の入手など、情報連携を意識している		
	13	訓練中の伝達や連携時の声の大きさは十分か		
	14	特定の要員に過度な負荷がかかる手順となっていないか		
	15	可能な限り模擬ではなく実操作を行うよう計画されているか		
	16	重要な報告（手順書の各ステップ）が適切に実施されているか		
	17	作業目標時間（戦略目標時間）が共有されているか		
(気付き事項)		(改善事項)		
(良好事例)				

要素訓練観察チェックシート (3/6) II型訓練共通		発電所		
		泊発電所 / 女川原子力発電所		
		訓練テーマ/手順		
		可搬型設備による電源供給/代替交流電源による給電		
		年月日		
		2022年4月●日 / 2022年4月●日		
		評価者		
評価対象	評価項目 (全評価項目の観察、評価を必須とするものではなく、観察できた項目の評価を実施)	確認	観察記録	
作業安全	1	放射線防護装備及び安全保護具の着用状況 (放射線防護装備、ヘルメット、保護メガネ、皮手袋、ヘッドライトの着用等)		
	2	放射線防護装備及び安全保護具の着用状況の確認 (作業前確認、相互チェック)		
	3	放射線防護装備及び安全保護具の不具合発生時の対応は適切か		
	4	屋外作業時の計測器 (GB, APD等) の着用確認		
	5	高所作業時の墜落制止用器具、脚立等の使用は適切か、3点支持は適切か		
	6	高低差 (段差) 作業場所の安全確認		
	7	不安定な姿勢での作業をしない		
	8	狭隘な作業場所での作業姿勢に注意		
	9	人力による重量物運搬時の運搬要員数、作業姿勢は適切か		
	10	車両運転時の安全確保は適切か (車両設置後の車止め含む)		
	11	訓練用設備 (SA可搬型設備等) に作業安全上の課題はないか		
	12	高温・低温 (降雪) 等の気候に応じた装備の選択と着用		
(気付き事項)		(改善事項)		
(良好事例)				

要素訓練観察チェックシート (4 / 6) II型訓練個別 - 代替交流電源による給電		発電所		
		泊発電所 / 女川原子力発電所		
		訓練テーマ/手順		
		可搬型設備による電源供給 / 代替交流電源による給電		
		年月日		
		2022年4月●日 / 2022年4月●日		
		評価者		
評価対象	評価項目 (全評価項目の観察、評価を必須とするものではなく、観察できた項目の評価を実施)	確認	観察記録	
個別手順 ・ケーブル敷設 ・ケーブル接続 ・電源車の運転・操作	1	ケーブル敷設ルート (適正なルート、障害物有無)		
	2	ケーブル損傷防止 (ねじれ, 折れ, 重なり)		
	3	ケーブル接続 (適正な保護具の着用および姿勢)		
	4	設備・工具・資機材の健全性		
	5	工具類、ボルト類の落下防止措置の実施		
	6	通信機 (トランシーバー、PHS) の通信状態は良好か		
	7	手順書は悪天候等 (雨、雪、風、夜間、路面凍結、酷暑等) の作業環境が悪い場合の 手順書となっているか		
	8	固縛ロープ、養生等撤去後に作業やアクセス性の支障となっていないか		
	9	設備、機器の開放扉の固定状況		
	10	SBO時を想定し、作業に必要な照度は確保できているか		
	11	屋外での夜間作業時には、作業に必要な照度は確保できているか		
	12	車止めは設置していたか		
	13	電源車操作時に指差呼称をしていたか		
	14	電源車の電圧等の指示値を確認をしていたか		
(気付き事項)		(改善事項)		
(良好事例)				

要素訓練観察チェックシート (5/6) II型訓練-発電所固有(泊)		発電所		泊発電所	
		訓練テーマ/手順		可搬型設備による電源供給/代替交流電源による給電	
		年月日		2022年4月●日	
		評価者			
評価対象	評価項目 (全評価項目の観察、評価を必須とするものではなく、観察できた項目の評価を実施)		確認	観察記録	
発電所固有手順 注意事項	1	可搬型代替電機車の適切な場所への車両配置			
	2	可搬型代替電源車の使用前点検			
	3	感電防止対策の実施(検電・接地線の敷設)			
	4	ケーブル接続部の異物確認はよいか			
	5	ケーブル接続状態の確認(誤接続・ロック機構)			
	6	(悪天候時)雨水等が接続部に入らないように処置ができていますか			
(気付き事項)			(改善事項)		
(良好事例)					

要素訓練観察チェックシート (6/6) II型訓練-発電所固有(女川)		発電所		女川原子力発電所	
		訓練テーマ/手順		可搬型設備による電源供給/代替交流電源による給電	
		年月日		2022年4月●日	
		評価者			
評価対象	評価項目 (全評価項目の観察、評価を必須とするものではなく、観察できた項目の評価を実施)		確認	観察記録	
	1	電源車の適切な場所への車両配置			
	2	電源車の点検を漏れなく実施できているか			
	3	ケーブル接続部の異物確認はよいか			
	4	誤接続のないことの確認はできているか			
	5	暖気運転時の電圧,周波数確認			
	6	(悪天候時) 雨水等が接続部に入らないように処置ができていますか			
	(気付き事項)			(改善事項)	
(良好事例)					

令和 3 年度シナリオ II 型訓練良好事例等の各社反映状況

事業者	反映状況
北海道	<p>【泊】</p> <p>■昨年度実施した II 型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行っている。(2023 年 2 月済)</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TBM において、体調確認時の顔色確認の際、一時的にマスク（不織布／布等）を外して実施するよう、確認事項のチェックシートに追記した。 ・ケーブル敷設時、躓きによる転倒の危険に繋がるため、ケーブルのねじれを修正することを手順書に追記した。 ・どの通信手段を使用するのか、TBM で確認するよう、確認事項のチェックシートに追記した。
東北	<p>【東通】</p> <p>■昨年度実施した II 型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行っている。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> □ブリーフィングチェックシートへ、荒天時はこまめに扉を閉めるよう注意喚起の項目を追加した。(2022 年 11 月済) □接地線の取り付け方法について、訓練事前打ち合わせ用テキストに反映し、継続的に周知することとした。(2022 年 11 月済) <p>【女川】</p> <p>■昨年度実施した II 型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行っている。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> □拡声器付き全面マスクを着用し、放射線防護装備着用時に正確に情報共有が行えることを確認した。(2022 年 4 月済) □車両誘導時に電子ホイッスルを使用し、周囲への注意喚起、車両運転者への誘導しやすさを確認した。(2022 年 4 月済)
東京	<p>【福島第一】</p> <p>■ 4 月実施予定</p> <p>【福島第二】</p> <p>■ 4 月実施予定</p> <p>【柏崎刈羽】</p> <p>■ 4 月実施予定</p>

事業者	反映状況
中部	<p>【浜岡】</p> <p>■昨年度実施したⅡ型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行っている。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の運転音大きい場合は、小型拡声器を活用する (2022年11月済) ・TBM チェックシートに体調確認のためマスク (不織布/布) を外して顔色を確認することを追記した。 (2022年11月済)
北陸	<p>【志賀】</p> <p>■昨年度実施したⅡ型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行った。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両移動 (後進) を行う際の電子ホイッスルの使用方法、誘導方法を手順書に反映し、訓練で効果的に実践されていることを確認した。 (2022年9月済) ・体調確認時には「マスクを外して顔色も確認すること」を TBM チェックシートに追記し、訓練で実施されていることを確認した。 (2022年9月済)
関西	<p>【大飯】</p> <p>■昨年度実施したⅡ型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行っている。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備運転音 (騒音) 対策として、咽喉マイクを活用。 <p>【高浜】</p> <p>検討中 (2023年3月30日予定)</p> <p>【美浜】</p> <p>■昨年度実施したⅡ型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行っている。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラックアウト時に緊急時対策所の電源を DG (安全系母線) と緊急時対策所の電源車のどちらからの供給を優先するのかが不明確であったため、本部要員のチェックシートおよび緊急時対策所の電源盤に掲示しているパウチに優先順位を追記し手順の明確化を図った。
中国	<p>【島根】</p> <p>■昨年度実施したⅡ型訓練の良好事例、改善事項については、当社の運用として取り込まれていることを確認した。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を用いた手順書を作成し、作業内容を理解・伝達の向上を図る。 →電源車の使用前点検箇所等について、手順書に写真を掲載している。 ・電源車の移動の際に誘導者は電子ホイッスルを使用し、手を挙げて確実に誘導する。 →ブリーフィング時に電源車の電子ホイッスルによる誘導 (声掛け方法、ホイッスルの使用) について、チェックシートを使用して確認している。 ・どの通信手段を使用するのか、TBM で確認する。 →ブリーフィング時に現場活動で使用する通信機器について、チェックシートを使用して確認している。

事業者	反映状況
四国	<p>【伊方】</p> <p>■ 昨年度実施したⅡ型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行っている。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班長は状況に応じて適宜ブリーフィングを行い、班員へ作業手順の説明を実施していた。また、班員は積極的に質問するだけでなく、説明された作業内容を安全かつ確実に実施するために様々な提案を行っていた。(2023年2月済) ・ ケーブル敷設時、躓きによる転倒災害防止のため、ねじれがないことを確認していた。(2023年2月済)
九州	<p>【玄海】</p> <p>■ 3月29日実施予定</p> <p>【川内】</p> <p>■ 3月28日実施予定</p>
原電	<p>【東海第二】</p> <p>■ 3月23日実施予定</p> <p>【敦賀】</p> <p>■ 3月9日実施予定</p>

令和4年度Ⅱ型訓練 実施要領，評価項目および評価方法

TEPCO

2023年3月
東京電力ホールディングス株式会社
日本原子力発電株式会社

令和4年度Ⅱ型訓練 実施要領 (BWR代表プラント)

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所
安全総括部 防災安全グループ

1. II型訓練概要 <福島第二発電所>

(1)訓練シナリオ開発WGにおけるII型訓練の目的

- 現場対応能力の向上を目的とした訓練評価手法および訓練改善の仕組みを検討する。
- 良好事例をNRAおよび電力各社で共有し、現場対応能力の向上を図る。

(2)II型訓練のテーマ

- a. テーマ : 可搬型設備による送水
- b. 操作手順 : 可搬型設備の設置及び注水操作
- c. 対応手段 : 消防車による淡水でのSFP注水

(3)実施日, 場所

2023年5月計画中

(4)訓練実施体制

役割	福島第二原子力発電所
訓練者	現場実動 : 5名(指揮者1名, 班員4名) 対策本部 : 50名程度
コントローラ	現場 : 2名 緊急時対策本部 : 10名

2. II型訓練実施要領<福島第二発電所>

(1) II型訓練の手順(福島第二発電所)

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

2. II型訓練実施要領〈福島第二発電所〉

(2)現場状況(福島第二発電所)

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

2. II型訓練実施要領〈福島第二発電所〉

(3)訓練設定上の模擬範囲およびスキップ範囲

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

3. マルファンクション〈福島第二発電所〉

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

3. マルファンクション〈福島第二発電所〉

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

3. マルファンクション〈福島第二発電所〉

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

3. マルファンクション〈福島第二発電所〉

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

3. マルファンクション〈福島第二発電所〉

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

令和4年度Ⅱ型訓練 実施要領 (PWR代表プラント)

2023年3月
日本原子力発電株式会社

4. II型訓練概要〈敦賀発電所〉

(1) 訓練シナリオ開発WGにおけるII型訓練の目的

- 現場対応能力の向上を目的とした訓練評価手法および訓練改善の仕組みを検討する。
- 良好事例をNRAおよび電力各社で共有し、現場対応能力の向上を図る。

(2) II型訓練のテーマ

- a. テーマ : 可搬型設備による送水
- b. 操作手順 : 可搬型設備の設置及び注水操作
- c. 対応手段 : 〈敦賀発電所〉 海水からSFPへの送水
〈発電所〉

(3) 実施日, 場所

〈敦賀発電所〉 2023年5月中旬予定 (仮)

(4) 訓練実施体制

役割	敦賀発電所
訓練者	現場実働 : 6名 (班長1名, 班員5名) 対策本部 : 40名程度
コントローラ	現場 : 5名程度 対策本部 : 5名程度

5. II型訓練実施要領〈敦賀発電所〉

(1) II型訓練の手順（敦賀発電所）

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

5. II型訓練実施要領〈敦賀発電所〉

(2) 現場状況（敦賀発電所）

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

5. II型訓練実施要領〈敦賀発電所〉

(3) 訓練設定上の模擬範囲およびスキップ範囲

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

6. マルファンクション〈敦賀発電所〉

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

6. マルファンクション〈敦賀発電所〉

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

6. マルファンクション<敦賀発電所>

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

6. マルファンクション〈敦賀発電所〉

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

6. マルファンクション〈敦賀発電所〉

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

7. II型訓練評価項目および評価方法

(1) 評価項目

- ① 指揮者評価項目
- ② 作業者評価項目
- ③ 作業安全評価項目
- ④ 注水設備評価項目
- ⑤ 実施発電所固有手順評価項目

※全評価項目の観察，評価を必須とするものではなく，観察できた項目の評価を行うものとして整理。

(2) 良好事例，気付き事項，改善事項

- ・ 良好事例 : 特に優れている項目および評価者が自社の改善につなげる事のできる項目
- ・ 気付き事項 : 良否の判定に関係しない，何等かの気付いた事項
- ・ 改善事項 : 改善の必要性および改善方法の提案

(3) 評価結果等の反映

- ・ 評価結果，良好事例，気付き事項および改善事項については，自社の改善計画のプロセスに取り込み，反映する。
- ・ 必要に応じて，改善事項をII型訓練観察チェックシートの評価項目に追加する。
- ・ 各社の改善計画プロセスについてのフォローアップについては，訓練シナリオ開発WGで議論する。

8. II型訓練評価項目および評価方法

(4) テーマ, マルファンクションから期待する事項

シナリオ非提示型訓練 (ブラインド訓練) のため非公開

令和4年度(2022年度) II型訓練実績・予定

No.	シナリオ年度	炉型	実施日	事業者	発電所
1	令和3年度	PWR	2022年4月21日	北海道電力	泊発電所
2	令和3年度	BWR	2022年4月27日	東北電力	女川原子力発電所
3	令和3年度	BWR	2022年9月27日	北陸電力	志賀原子力発電所
4	令和3年度	BWR	2022年11月22日	中部電力	浜岡原子力発電所
5	令和3年度	BWR	2022年11月25日	東北電力	東通原子力発電所
6	令和3年度	BWR	2023年1月31日	中国電力	島根原子力発電所
7	令和3年度	PWR	2023年2月2日	四国電力	伊方発電所
8	令和3年度	PWR	2023年3月3日	関西電力	美浜発電所
9	令和3年度	PWR	2023年3月9日	日本原電	敦賀発電所
10	令和3年度	PWR	2023年3月10日	関西電力	大飯発電所
11	令和3年度	BWR	2023年3月23日	日本原電	東海第二発電所
12	令和3年度	PWR	2023年3月28日予定	九州電力	川内原子力発電所
13	令和3年度	PWR	2023年3月29日予定	九州電力	玄海原子力発電所
14	令和3年度	PWR	2023年3月30日予定	関西電力	高浜発電所

令和 5 年 3 月 2 4 日

令和 5 年度訓練シナリオ開発WGの進め方について

1. はじめに

- 訓練シナリオ開発WG（以下、「本WG」という。）は平成 2 9 年度から開催され、これまでの間、シナリオ開発やそのシナリオに基づいた訓練を行い、各社で評価を行うといった一連の流れが定着しており、現在に至っている。
- 令和 2 年 6 月 1 8 日に開催された本WGのなかで、原子力規制庁より、「原子力規制庁が担ってきた役割を事業者側（ATENA、JANSI など）へ移行」する提案がなされ、本WGの在り方や訓練の効率化などについて議論を進めていくこととなり、電事連の中に訓練シナリオ検討WGを設置し、対応を進めてきた。
- 令和 4 年 2 月 2 5 日に訓練および規制の在り方にかかる意見交換が実施され、その中で炉規制法、原災法にかかる訓練の在り方や規制庁の関与などを規制庁と事業者で検討していくこととなり、令和 4 年度の本WGは令和 3 年度までと同様に進めてきた。
- 上記の経緯やこれまでの本WGの実績を踏まえ、令和 5 年度における本WGの進め方や実施主体に関する検討を以下のとおり実施した。

2. 訓練シナリオ開発WGのこれまでの対応と令和 5 年度の取り組みについて

(1) 現状認識について

- a. 本WG開始以降、事業者は訓練の計画段階より規制側の関与（指導、助言）を受けながら検討を実施してきており、現在においては I 型訓練・II 型訓練それぞれにおいて、訓練のプロセスが確立されており、これを毎年度継続的に実施している状況である。
- b. 事業者は、上記 2. (1) a. において確立されたプロセスに則り、毎年度シナリオの検討、計画、実施、実績取りまとめ、次年度への展開、といったPDCAサイクルが定着している。
- c. 規制側への報告としては、次年度の計画（シナリオ含む）に関する内容及び当該年度の訓練結果等実績報告に関する内容について、それぞれ 1 回、毎年度計 2 回の本WG会合を実施している。
- d. 本WGの当該年度取りまとめ結果は、原子力事業者防災訓練報告会（以下、「訓練報告会」という。）において原子力規制庁から報告している。

(2) 今後の対応について

上記の点を踏まえ、以下の観点から今後の本WGにおける訓練の計画及び実施は、事業者自らが主体となって取り組むこととしたい。

- a. 本WG会合及び訓練報告会における報告内容のとおり、事業者は、2. (1) に記載の規制側の関与を受けながら確立したプロセスに則り、本訓練が毎年度実施できていること。
- b. 緊急対応能力の向上を図る訓練の取り組みは、事業者自らが主体的に実施すべきこと。

3. 結論

上記2. のとおり、本WG開始以降規制側の関与を受けながら確立されたプロセスに則り、現在においては事業者が自らP D C Aを回す事で各訓練を実施できていることから、今後は事業者が主体的に取り組む運用に移行する事が可能と考える。

更に、訓練報告会における報告についても、事業者からの説明が可能と考える。

従って、令和5年度においては、本WGにかかる訓練計画及び報告について、下表のとおりとしたい。

表1 シナリオ開発WGの実施主体の移行について

	現在 (令和4年度迄)	今後(案) (令和5年度)
本WG会合 (計画)	有	無
本WG会合 (実績)	有	有 (計画と合わせてご報告)
事業者防災訓練報告会 における報告	原子力規制庁	事業者

以 上

(別紙)

- ・別紙 事業者主体の訓練シナリオ開発に係るプロセスの整理

事業者主体の訓練シナリオ開発に係るプロセスの整理

<P>

- (1) 原子力事業者間で当年度の訓練取り纏め社を選定する。
I型訓練：再稼働または適合性審査合格後のプラントを保有するPWRおよびBWR電力から各1社
II型訓練：上記によらずPWR、BWR電力から各1社
- (2) 訓練シナリオについては、PWRおよびBWR電力それぞれの取り纏め社が中心となり、新規シナリオを開発するか、または開発済みシナリオから選定する。
- (3) 各社は、選定された訓練シナリオに基づいて訓練計画を策定する。なお、新規に開発したシナリオを使用する場合は代表プラントを選定することも可とする。

<D>

- (4) 訓練を実施するにあたって、事前に電力各社へ評価依頼を行う。

<C>

- (5) I型訓練の評価については、緊急時対策所等での立会い又は映像記録の確認のいずれも可とし、原則として訓練実施プラントと同形式を所有する電力間の評価とする。(PWR、BWRそれぞれ)
- (6) II型訓練の評価については、原則、発電所構内での現場作業の確認とするが感染症対策等やむを得ない場合にあっては映像記録の確認も可とする。
- (7) 訓練実施社は、各社評価結果を集約し、自社の改善活動に資する。

<A>

- (8) 取り纏め社は、年度末に以下の事項を整理する。
 - ・当該年度の各社訓練実施結果
 - ・各社へ展開する課題および良好事例の抽出
 - ・前年度課題等の各社反映状況
 - ・訓練評価シートの改善
- (9) 原子力規制庁は、防災訓練報告会までに訓練シナリオ開発ワーキンググループ(会合)を開催し、原子力事業者より(8)の事項について報告を受ける。